

129. 諸備平均賃金 自明治四十年至同四十四年

本表賃金ノ調査ハ全國樞要ノ地ニ就キ毎年三月六月九月十二月四度ノ調査ヲ平均シタルモノナリ但シ酒造稼人等ノ如キ季節ヲ限リ労働スルモノハ其季節間ノ平均ナリ又附ト自分賄トヲ混シテ之ヲ平均セシモノアリ其他各地ノ照較ニ便スル爲メ年給ヲ月給又ハ日給ニ月給ヲ年給又ハ日給ニ日給ヲ月給ニ換算シタルモノアリ而シテ賃金高低ノ度ニ於テ往々其當ヲ得サルカ如キ觀アルモノアリト雖トモ姑ク主管廳ノ報告ニ據ル第百三十表第百三十一表モ同シ

Table with columns for job types (e.g., 大工, 左官, 石工) and years (1907-1911). It is divided into three sections: 最高賃金, 普通賃金, and 最低賃金.

130. 諸備賃金 (*ハ賄付ナリ) 明治四十四年

本表ハ最高賃金、普通賃金、最低賃金ノ三種中普通賃金ヲ掲ク

Table with columns for job types (e.g., 大工, 左官, 石工) and locations (e.g., 東京, 横浜, 京都). It is divided into two sections: 最高賃金, 普通賃金, and 最低賃金.